はじめに …… i

第１章　生物多様性ガバナンスをめぐる国際関係 ……毛利勝彦… 1

1. はじめに　1
2. 生物多様性とは何か　2
3. 誰がいつ問題にしたのか　4
4. どこが問題なのか　8
5. なぜ問題なのか　10
6. どのように対処してきたのか　12
7. まとめ　16

第２章　生物多様性における科学と政治

―サメ類の資源管理を事例に― ……石井　敦…19

1. 生物多様性の出自　19
2. サメとは　20
3. 分析視角　22
4. 国際的なサメの資源管理　23
   （1）黎明期から 1990 年代まで　23
   （2）ボン条約　24
   （3）国際漁業資源管理機関（RFMOs）　25
5. 被影響制度としてのワシントン条約　26
6. ワシントン条約におけるサメ類の交渉過程　28
   （1）COP11（2000 年）　28
   （2）COP12（2002 年）　30
   （3）COP13（2004 年）　32
   （4）COP14（2007 年）　33
   （5）COP15（2010 年）　36
7. 制度間相互連関のトリガーとしてのサメのノンレジーム　37
8. 結論　39

第３章　生物多様性レジームと気候変動レジームの連結
―持続可能で有機的なネクサスの模索―　……太田　宏…44
1. はじめに　44
2. 環境レジーム間の複雑な相互連関
―気候変動レジームと生物多様性レジーム―　45
3. 気候変動レジームにおける生物多様性問題　47
（1）生物多様性問題が気候変動レジーム内の交渉議題に上った経緯　47
（2）気候変動レジーム内での生物多様性問題の討議―REDD＋を中心に―　50
4. 生物多様性レジームにおける気候変動問題　56
（1） 気候変動問題が生物多様性レジーム内の交渉議題に上った経緯　56
（2）REDD＋に関する討議の概要と COP10 決定の主な内容　58
（3）バイオ燃料に関する討議の概要と COP10 決定の主な内容　59
（4）ジオエンジニアリングに関する討議の概要と COP10 決定の主な内容　60
（5）リオ条約間の協力に関する討議の概要と COP10 決定の主な内容　62
5. おわりに　63

第４章　森林と生物多様性 ……香坂　玲…70
1. 時間と空間によって異なる「良い森林」「美しい森林」　70
2. 生物多様性条約などにおける森林の議論　72
（1）森林の定義―容易ではない森林の定義や関連用語―　72
（2）CBD のレジームでの扱い　73
3. COP10 の議論と今後の展開　78
（1）2010 年目標の失敗　78
（2）愛知目標の設定　81
（3）COP9 と COP10 での森林の議論　83
４．まとめ―COP10 の成果と今後の展望―　87

第５章　農業から見た生物多様性と水 …… 佐久間智子…92

1. 農地開発と生態系の破壊　92
2. 農地劣化と水系の破壊　94
3. 増える需要と滞る生産性向上　96
4. 食の近代化がもたらした農産物需要の増加　98
5. 不公正な貿易システムがもたらす農地拡大　100
6. 農業と気候変動　101
7. 農業品種の多様性と土壌の生物多様性　104
8. 近代農業の環境影響と日本の農業の環境適合性　106
9. 環境を保全する農業のあり方　108
10. 農業と生物多様性のガバナンス　110

第６章　生物多様性とバイオセーフティ―遺伝子組換え生物をめぐる政治と国際関係― …… 大河原雅子…115

1. はじめに　115
   （1）生活者の視点を政治に　115
   （2）未来の子どもたちからの預かりもの　116
2. 生物多様性とバイオセーフティがなぜ重要なのか　117
   （1）生物多様性条約　117
   （2）カルタヘナ議定書　121
   （3）「夢の技術」か―遺伝子組換え技術に対する期待と懸念―　122
3. 責任と修復（救済）　125
   （1）責任と修復をめぐる政治　125
   （2）責任と修復をめぐる国際関係　129
4. 名古屋・クアラルンプール補足議定書　131
5. まとめ　134

第７章　生物多様性と遺伝資源―アクセスと利益配分をめぐって―
…… 隅藏康一…*137*

1. はじめに　*137*
2. 製薬企業における遺伝資源の利用　*138*
3. その他の業界における遺伝資源の利用　*140*
4. 南北対立　*141*
5. 国際的枠組み　*142*
6. 比較事例としての特許制度　*144*
7. 名古屋議定書　*146*
   （1）遡及適用　*146*
   （2）派生物の取扱い　*147*
   （3）アクセスに関する事前同意の法的確実性　*147*
   （4）伝統的知識　*147*
   （5）病原体　*148*
8. 今後の課題　*148*
   （1）非商業目的の研究　*149*
   （2）特許出願における出所開示義務　*149*
   （3）ヒト遺伝子の例外　*150*

第８章　生物多様性とビジネス …… 粟野美佳子…*152*

1. 議論の経緯　*152*
2. COP10 における議論　*156*
3. 名古屋議定書のビジネスにとっての意味　*157*
4. 愛知目標のビジネスにとっての意味　*160*
5. 資金動員戦略のビジネスにとっての意味　*163*
6. グリーン開発メカニズム（GDM）　*166*
7. 生物多様性条約以外の動き　*167*
8. 事業活動と生物多様性　*170*

はじめにと目次.indd　9　2011/04/26　16:23:44

第９章　生物多様性と地域開発―愛知ターゲットと保護地域ガバナンス―
…… 高橋　進…177

1. はじめに　177
2. 愛知ターゲットと保護地域―保護地域の拡大でなぜ対立するのか―　178
   （1）生物多様性条約と保護地域　178
   （2）2010年目標と保護地域　178
   （3）ポスト2010年目標―愛知ターゲット―　180
3. 国立公園の誕生―保護地域とは何か―　181
   （1）世界で最初の国立公園　181
   （2）日本における国立公園の誕生　183
4. 保護地域と地域開発―なぜ保護地域は地域開発の支障となるのか―　185
   （1）国立公園の世界的拡張と強制退去　185
   （2）保護地域と地域社会の軋轢　186
5. 保護地域ガバナンスの変遷―地域社会重視のトレンド―　188
   （1）統治管理から地域社会重視のガバナンスへ　188
   （2）開発援助による保護と開発の統合　189
   （3）エコツーリズムの誕生　189
   （4）エコツーリズムと国際開発援助　191
   （5）エコツーリズムと地域振興　192
   （6）地域住民の資源利用容認へ　193
   （7）地域社会との協働管理　194
6. 国立公園ガバナンスの変遷―協働管理に向かうインドネシアの事例―　197
   （1）インドネシアの自然と資源　197
   （2）国立公園管理と開発援助　198
   （3）生物多様性保全プロジェクト　199
   （4）協働型管理への模索　200
7. おわりに―保護地域管理の新たなパラダイム―　202

はじめにと目次.indd　10　2011/04/26　16:23:44